

## 秋の陣 その2

明日から学校が始まりますが、生徒諸君の学習の状況はいかがでしょう。約1か月前に計画した内容の進捗は、今のところ修正の必要がないでしょうか。また、模擬試験である全統マーク模試を10日と11日に受験していますので、その内容の確認と、24日にある全統記述模擬試験の出来を鑑みて、次なる一手を打つべきでしょう。

だからといって、学習内容を大幅に変更するとか、テキストをとっかえひっかえやってみるとかするのはなく、今まで使ってきたもののどこが足りないのか、どこを強化するのかをよく見定めて、次の1か月の進め方を狙いをもって考えてみましょう。

部活動の経験を思い出してください。練習試合を行ってどこが良かったのかどこが悪かったのかをきちんと分析し、次なる試合までにどう修正するかが毎日の訓練だったはず。できることとできないことをきちんと見定めて、できることはいつもできるようにすること、できないことはどうしたらできるようになるか試すこと、何を重点的に繰り返すのかを見定めることによって実力が養われるのです。

練習試合で力を出せば、本番での活躍が見込まれます。それでも、自信をもって本番に臨むためには、精神的な強さも試されます。あと1点を何でとるか、どのようにすれば相手より自分のペースで進めることができるか、文武の力を養ってきたことが今生かされるはず。

準備したことが本番で実力として発揮されること、併せて臨機応変に対応する力が蓄えられること、できることとできないことの判断力を発揮し、できることを100%できるようにすることが当日の目標となります。

100点満点を取らないとならないわけではないのです。ボーダーより、5点程上回る力があれば乗り越えていけます。受験は取捨選択の連続なのです。

あくまでも全員が参加できる唯一の全国大会なのです。相手は、全国の猛者たち50万人です。この戦いにおいては、圧倒的有利や圧倒的不利は存在しません。ほんの微細な状況の変化が連続的に起こり、その一つ一つをうまく処理していくことにより、1人を抜き去り10人を抜き去り100人を抜き去り、1000人を抜き去るのです。100人抜く間に50人ぐらいには抜かれますが、また100人抜き去るのです。風邪をひいている暇はありません。立ち止まる暇はありません。走り続けること。これが戦い抜く唯一の手段です。

